

危うすぎる布袋東開発は見直しを

今任期4年間の最後となる市議会3月定例会が2月25日に開会し、3月15日までの会期で行われます。日程は下記のとおりです。党議員団の一般質問通告は下のよう項目を予定しています。(今後変更する可能性もあります)

大切な市民の新図書館を、民間商業施設(30年借地契約)と合築で作って良いのでしょうか

布袋駅東地区(写真)に広がる約9000平方メートルの工場跡地等を約9億円かけて買収し、民間の資金と活力を利用し新たな賑わいの拠点を創出するとして、市は2017年3月に布袋駅東複合公共施設基本計画を策定しました。

ところが2018年5月、図書館を複合公共施設内に移転すると市長の突然の表明によって、基本計画の作り直しが必要となり、図書館基本計画の策定と並行して改定作業が進められてきました。

パブリックコメント中の基本計画改定案では、敷地内への施設の配置イメージ、導入施設の構成イメージや想定する事業スキームが示されていますが、問題大ありです。最も懸念されるのは公共施設と民間施設の合築棟を想定していることです。(右図)

テナントが撤退したら、図書館はどうなる?

複合施設は、下層階に食品スーパー等や子育て、医療、福祉機能をもつ民間商業施設。上層階に図書館、保健センター、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、交流スペースなど市所有の公共施設を配置し合築で建設。事業用定期借地権方式で、市有地を民間事業者に貸す想定です。借地期間は、2年前計画時には30年でした。定期借地権方式は、契約満了後、建物を取り壊し更地にして市に返還するのが原則。30年後に取り壊す民間施設との合築で、市民の大切な新図書館など公共施設をつくったら、どうなるのでしょうか。

党議員団の一般質問通告予定

森ケイ子議員

- ① 市営住宅の入居基準について
- ② わかくさ園について
- ③ 資源ごみ回収について
- ④ 巡回バスについて
- ⑤ 自衛隊への若者名簿の提出について

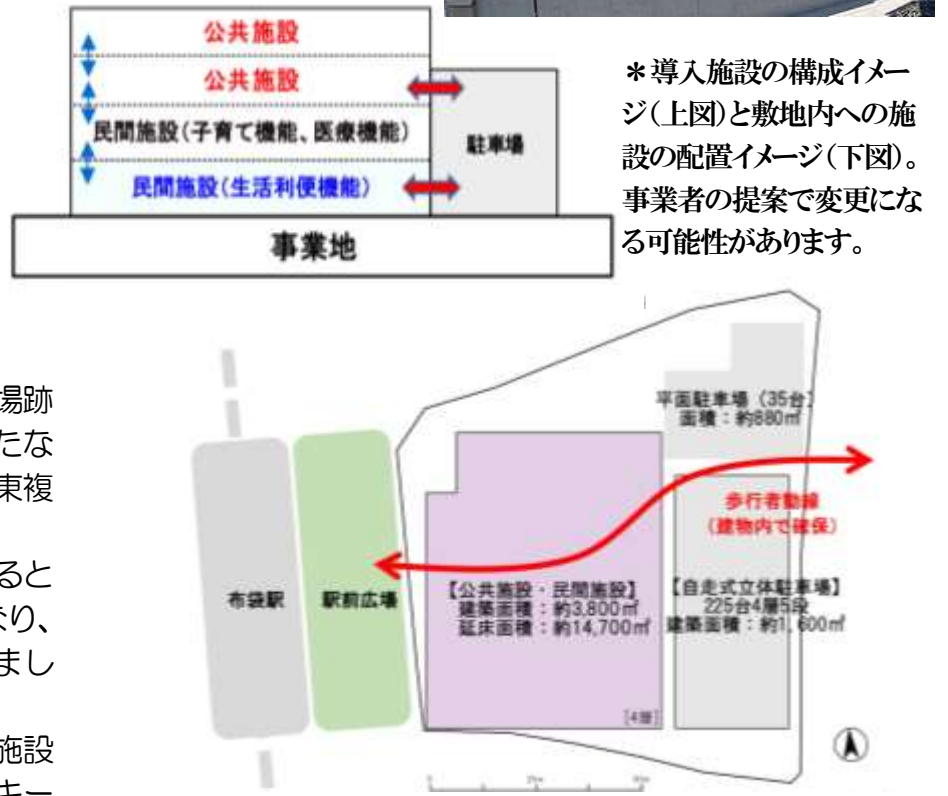


かけのまち子議員

- ① 子どもの国保税軽減を
- ② 巡回バスの実現を
- ③ 布袋駅東複合公共施設基本計画改定案について

東よしき議員

- ① 公共施設保全計画について
- ② 保育園の入園基準、休日保育、病児病後児保育について
- ③ 布袋ふれあい会館競技場のエアコン代(その後)
- ④ 水道料金の大幅な値上げを防ぐために



駐車場が大幅に不足

懸念の2点目は、駐車場が260台分(公共で100台、民間で160台)しかない計画で、大幅に不足することです。現在の図書館でも78台。3倍に規模が拡大する新図書館に加え、子育て支援センターや保健センターなども合わせた公共施設用駐車場が100台とは余りにも足りません。

駐車場の大半は4層5段の立体駐車場(民間が経営)の計画です。アクセス環境が良くない商業施設が、長期間安定して営業が続けられるのか。テナントが撤退したら空き床はどうなるのか。テナント料収入の不足で開発事業者が撤退することはないのか。不安が募ります。

さらに、図書館、保健センターなどの公共部分は公的資金を使い請負契約で建設するよう変更となったはずなのに、当初のとおり設計・建設・維持管理までを一括で性能発注するPFIに準じた方式をとる予定です。

パブリックコメント後、実施方針と要求水準書案の公表、9月議会で債務負担行為の議決を行い、開発事業者の募集手続きを開始するスケジュールです。このような危うい計画を進めて本当に大丈夫なのでしょうか。市民への説明も決定的に不足しています。

日本共産党議員団は、計画当初から問題点を厳しく指摘。公共部分は別棟で、市の責任で市事業として建設するべきと対案を示し見直しを求めてきました。3月議会でも取り上げていきます。

3月定例会の日程

- 2月25日(月) 開会、議案上程、人事案件の採決
- 2月28日(木) 3月1日(金) 4日(月) 一般質問
- 3月6日(水) 本会議議案質疑
- 3月7日(木) 8日(金) 総務委員会審査
- 3月8日(金) 11日(月) 建設産業委員会審査
- 3月11日(月) 12日(火) 厚生文教委員会審査
- 3月15日(金) 最終日。委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論採決。